

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2103142	ハングル Hangul	白 明学	基礎	1	選択	3年 後期

科目の概要

日常的に使われる単語(名詞・助詞・形容詞・動詞・副詞など)を覚えて、会話の場面に適用する力を身に付ける。また、文法においては「連体形・連結語尾・不規則用言(7種類の中で3種類を取り上げる)」を学び、さらに難しい韓国語の表現を読み説く力を身に付ける。

学修内容	到達目標
① 韓国語で使われている言葉の種類(品詞)を知る。 ② 各品詞別の基本単語覚える(約 150 単語)。 ③ 用言の活用時、語幹と語尾の変化を知る。 ④ 用言の不規則変化を知る。 ⑤ 韓国語の文章の翻訳や会話を実施する。	① 名詞・助詞・用言の役割を説明することができる ② 基本単語を覚えて、読み書きができる。 ③ 用言の変化について説明することができる。 ④ 用言の不規則変化を文章に適用することができる。 ⑤ 韓国語の文章を読んで理解することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	韓国語の文法を理解し、基本単語を覚えるなど自己学修ができる。
	働きかけ力	
	実行力	習った単語や文法を活用して話したい表現を文章で書くことができる。
考え抜く力	課題発見力	韓国語の用言活用において日本語の用言との違いを見極め、正確な活用法を作文に適用することができる。
	計画力	
	創造力	日本語との語順の類似性を生かし、自ら韓国語の文章を考え、まとめることができる。
チームで働く力	発信力	自己アピールポイントを伝わりやすい韓国語にまとめ、会話の場面に適用することができる。
	傾聴力	相手の韓国語をよく聞き、理解することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	講義中の私語、無断欠席、遅刻など授業に支障をきたすことはせず、ルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:「かんたん！韓国語」 金殷模 他, 朝日出版社
プリントを適宜配布する。

他科目との関連、資格との関連

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 配布プリントとノートは、専用のファイルにまとめて置くようにして下さい。 講義後は授業内容を必ず復習するようにして下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布した資料の予備は保管しません。出席者からコピーさせてもらうようにして下さい。 携帯電話は、辞書機能を使う時以外は、電源を切ってカバンにしまっておいてください。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
中間テスト	30	①	✓	授業内容を理解し、韓国語での読み書きが可能かを評価する。 実用的な場面における応用力を確認する。
		②	✓	
小テスト	20	①	✓	必要に応じ小テストを実施し、点数を平均して判定する。 ① 授業内容を理解しているか確認する。 ② 前の週の学習内容を中心に出题する。
		②	✓	
レポート	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・課題①「学修内容に関する小テスト」A4用紙1枚(両面) ①資料に提示した基礎単語・短文の翻訳/作文を小テスト形式で確認する。 ・課題②日記形式で作文を作成する ②伝わりやすい言葉で表現できているかを評価する。 ・課題③「授業後の感想」
		②	✓	
		③	✓	
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	①模擬の会話の場면을想定し相手とやり取りを行う。 ②会話の適切性と韓国語の発音を評価する。 ③明瞭な発音で会話をすることが出来ることを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性)・語学力を身に付けるために自ら予・復習をすることが出来る。 (実行力) ・授業で学修した内容を日常的な場面で意識的に活用することが出来る。 (課題発見力) ・様々な会話の場면을イメージしてそれに必要な言葉を覚えることが出来る。 (創造力) ・学修した文法や単語を応用して自分の表現に変えることが出来る。 (発信力)・人の前で韓国語を使って自己アピールをすることが出来る。 (傾聴力)・韓国語の発音を正確に聞き取り、真似をすることが出来る。 (規律性)・無断欠席、学修意欲の欠如など授業に支障をきたす行動をセザル ルを守る事が出来る。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・基本単語を9割以上覚えることができる。 ・授業で取り上げた文法を9割以上活用することができる。 ・韓国語を明瞭な発音で言うことができる。 ・会話の場面で臨機応変に対応することができる。 ・レポート課題を90%以上完成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本単語7割以上覚えることができる。 ・授業で取り上げた文法を7割以上活用することができる。 ・レポート課題を70%以上完成することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション及び韓国語の文法用語について説明をする。	講義	文字の読み方が出来る。	入門講義で習ったこと確認すること	45	主体性 実行力
2週 /	基本単語を学修する。① 韓国語の名詞や助詞を覚える	講義	基本単語を読み書きが出来る。	授業で取り上げられた単語を覚えること	45	主体性 実行力
3週 /	基本単語を学修する。② 形容詞・動詞を覚える	講義	基本単語の読み書きが出来る。	授業で取り上げられた単語を覚えること	45	主体性 実行力
4週 /	指示詞を覚える 助詞「～の」	講義	「この・その・あの」などを使って会話ができる。	「この/これ/ここ」などの指示詞を覚える	45	主体性 実行力
5週 /	「あります/います」「ありません/いません」を学習する	講義	存在表現を使った会話ができる。	存在表現を使った会話ができるよう復習すること	45	主体性 実行力
6週 /	「～します/～しますか」を学習する 助詞「～を」	講義	動詞述語文を理解できる。	「～を」が使われる動詞文を覚えること	45	主体性 実行力
7週 /	動詞の丁寧な言い方を覚える 助詞「～で」	講義	動詞を丁寧な形で表現できる	動詞の活用を復習すること	45	主体性 実行力
8週 /	中間テスト及び 韓国・韓国文化 Q&A	講義	単文を作ることができる	文化の違いについて考えてみる	45	主体性 働きかけ力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	動詞の否定形を学習する 「～しません」	講義	動詞を否定形で表すことができる。	動詞否定文の使い方を覚える	45	主体性 働きかけ力
10週 /	くだけた場面での動詞の丁寧な言い方を覚える 助詞「～から～まで」	講義	会話でよく使われる動詞の丁寧形が作れる	動詞の「해요体」の作り方を覚えること	45	主体性 働きかけ力
11週 /	韓国語を日本語に翻訳する -辞書の使い方を覚える	演習	辞書を使って韓国語の意味を調べることが出来る。		45	主体性 実行力
12週 /	韓国語で作文を実施する。 -「日記」を書く	演習	単文形式で「日記」を書くことが出来る。		45	主体性 実行力
13週 /	韓国語で作文を実施する。 -「私が好きなこと(物)」について書く	演習	単文形式で「私が好きな物」についての作文が出来る。	「私が好きな物」について作文を用意して来ること	45	主体性 実行力
14週 /	作文を発表する 書いた文の中から1つを選ぶ。	発表	自分の作文を読むことが出来る。	発表する作文を練習して来ること	45	主体性 実行力 発信力
15週 /	まとめ	講義	授業後の感想を述べる事が出来る。	レポート作成に備えて資料をまとめること	45	主体性 実行力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力